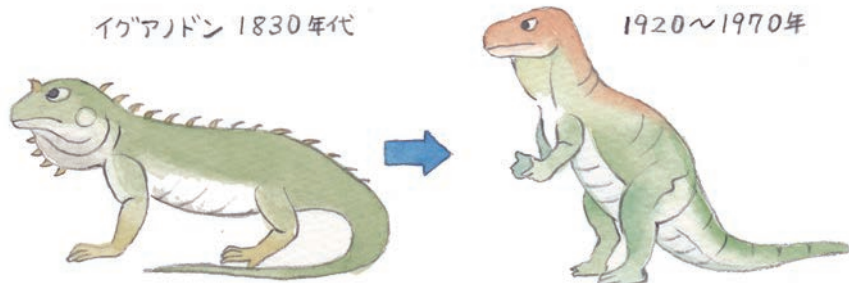


恐竜研究の歴史をたどる

恐竜が地球上に生存していたことが、はっきり証明されてから、200年足らず。たくさんの学者たちが、恐竜の骨やその頃の自然環境を調べて、こんなすがたで、こんなふうに住らしていたと想像してきた。図書館で古い恐竜の本を調べて、同じ名前の恐竜のすがたがどんなふうになっていったか、比べてみよう。ブロントサウルスのように、まちがって考えられた恐竜もある。



読んでみよう

『どうしてわかるきょうりゅうのすがた』

工藤晃司文・絵 大日本図書 2001
978-4-477-01167-7

『世界恐竜発見史』

ダレン・ネイシュ著 伊藤恵夫日本語版監修
春日清秀訳 ネコ・パブリッシング 2010
978-4-7770-5284-4

『どれがほんとう？ 恐竜のすがた』

七尾純著 アリス館 2003

『恐竜研究室 1』

ヒサクニヒコ文・画 あかね書房 2012
978-4-251-07031-9

